

日本学術振興会
炭素材料第117委員会
第292回委員会議事録（案）

1. 日 時 平成21年11月20日（金） 9：30～16：30

2. 場 所 産業技術総合研究所 臨海副都心センター別館 11205 第一会議室

3. 出席者 42名 （順不同・敬称略）

委員 長： 寺井隆幸（東大）

主 査： 川口雅之（大阪電通大）、鏑木裕（東京都市大）、森田登（日本工大）

幹 事： 阿久沢昇（東京高専）、稲垣道夫（北大名誉）、安田榮一（東工大）、
吉田明（東京都市大）、小林知洋（理研）

委 員： 安藤寿浩（物材機構）、蛭谷玄太（コバレントマテリアル）、大澤善美
（愛知工大）、小田廣和（関西大）、小野雅博（川俣精機／代理：畠
山伸也）、京谷隆（東北大）、児玉昌也（産総研）、近藤純子（東洋炭
素／代理：森下隆広）、金野英隆（北大）、塩山洋（産総研）、園部直
弘（クレハ／代理：若穂岡尚志）、高波浩（タンケンシールセーコウ
／代理・木村直文）、豊田昌宏（大分大）、林慎治（新日鐵化学）、福
田敏昭（東海カーボン／代理：瀬高俊哉）、藤本宏之（大阪ガス）、
山下良（新日本テクノカーボン／代理：菅原利夫）、大平雅彦（富士
カーボン製造所／代理：二見貴俊）、仁平徹（日立化成工業）、

委員 外： 押田京一（長野高専）、木村脩七（東工大）、佐藤裕司（東海カーボン
／代理：小島一幸）、鳥飼直親（横国大）、中村和正（東工大）、夏目
勇（東海カーボン）、菱山幸宥（東京都市大）、宮嶋尚哉（山梨大学）

同伴者他： 棚池修（産総研）、高木英行（産総研）、菅野康之（東北大）、安達芳雄（産
総研）、中川清晴（関西大）、衣本太郎（大分大）

4. 本委員会議事経過

寺井委員長司会の下に本委員会を開催した。

4. 1 前回議事録の承認

以下を訂正し、前回議事録（案）を承認した。

4.3(1)(b) Editori → Editor

4. 2 第 1 1 7 委員会関係

(1) 委員長報告等

(a) 委員の異動等

無し

(b) 日独セミナーについて

- ・ 第二回日独セミナー(117委員会とドイツ炭素学会との共催)は2010年に日本で開催。
- ・ ドイツ側の希望は9/18(土)に来日、9/20(月)～9/21(火)にセミナー開催であるが20日は祝日であるため、検討が必要
- ・ 実行委員会を年内に設立し、4月の第293回委員会でアナウンス・参加募集を行う、
- ・ 下記2件の補助申請を行う。
 - (1)学振による産学協力国際シンポジウム開催経費補助(11/27申請締切)
 - (2)学振協力会による特別事業(シンポジウム等)への支援(12/11申請締切)

(c) J-PARC(大強度中性子発生施設)の利用について

- ・ 学振の他の委員会と共同で新しい測定ビームラインを設計する予定である。(中性子+X線等の複合量子ビームライン)
- ・ 新ビームラインの仕様検討委員会(先導的研究開発委員会)に117委員会も学界1名(委員長)、産業界1名の人員枠があるので、興味がある産業界委員の方は委員長または庶務幹事まで連絡頂きたい。ビームラインが完成したのち優先的に使用できる見込み。
- ・ J-PARCのトライアルユース(中性子回折、透過イメージング等)に117委員会として応募可能である。興味がある方は庶務幹事まで連絡頂きたい。

(d) 次回以降の予定について

H22 第1回(293回) 4/16(金)[C, A, B] 東京工業大学大岡山キャンパス(会場担当:榎幹事)

H22 第2回(294回) 7/23(金)[A, B, C] 東京都市大学世田谷キャンパス(会場担当:鍋木主査)

(2) 分科会報告

(117-292-B1) 先端球状炭素繊維の開発

○藤本宏之(大阪ガス)

(117-292-B2) 水分散性カーボンナノ試験管へのDNAの導入

○菅野康之、折笠広典、Ittisanronnachai Somlak、千川康人、永次史、京谷隆（東北大学多元物質科学研究所）

- (117-292-C1) 糖類から誘導した炭素体の細孔特性に及ぼすヨウ素処理の影響
○宮嶋尚哉¹、幸脇悠人¹、神宮司健¹、阪根英人²、桑原哲夫¹、棚池修³
（山梨大院医工¹、山梨大機器セ²、産総研³）
- (117-292-C2) 表面酸化ダイヤモンドを触媒担体に用いたナノ炭素繊維の合成
○中川清晴¹、蒲生西谷美香²、安藤寿浩³、小田廣和¹（関西大学環境都市工学部¹、東洋大学理工学部²、物質材料研究機構³）
- (117-D-109-1) 鉄リングにおける微小ブラシ電流での Fritting ライクなふるまいについて
○鈴木康誉、堂ノ浦修平、上野貴博、森田登（日本工業大学）
- (117-D-109-2) JICA サウジアラビア（工業高校プロジェクト）出張報告と同国の日本の技術への期待 ○森田登（日本工業大学）
- (117-292-A1) プロパン系からの CVI による 800℃炭素化ろ紙へのカーボンコーティングと電気化学的特性評価
○大澤善美、岡部拓美、中島剛（愛知工業大学）
- (117-292-A2) 無煙炭の黒鉛化、X 線回折による再検討
○吉田明¹、浜村尚樹¹、新藤恵美¹、鎗木裕²、菱山幸宥³、（東京都市大総合研究所¹、東京都市大工学部²、東京都市大名誉教授³）
- (117-292-A3) 面間隔 d_{002} の Nelson-Riley 外挿関数を用いた外挿法による評価
○菱山幸宥¹、浜村尚樹²、新藤恵美²、吉田明²、鎗木裕³（東京都市大名誉教授¹、東京都市大総合研究所²、東京都市大工学部³）

4. 3 報告事項

(1) 炭素材料学会関係

(a) 学会関係：京谷委員（運営委員長）より以下の報告があった。

- ・ 10 月 16 日に行われた 10 月セミナーは参加者が 32 名と少なく、次回以降参加を促して頂きたい。
- ・ 来年 3 月 18、19 日に行われる日本トルコ炭素セミナーは学生対象のポスターセッションが企画されており、無料宿泊所もあることから多くの学生に参加してほしい。
- ・ 2 月セミナーは自動車 Li バッテリーとスーパーキャパシタがテーマである。
- ・ 炭素誌に年会プログラムを掲載することを取りやめた。11 件のキャンセルがあった

たためで、HP 上に最新のものを編集し直して掲載している。

- (b) 炭素誌関係：鎗木幹事（編集委員長）より以下の報告があった。
- ・ 240 号は電気化学の特集。少し遅れているが間もなく手許に届く見込み。
 - ・ 241 号は論文投稿数がまだ少ない。
 - ・ J-stage アーカイブ事業に正式に採用され、創刊号から昨年までの論文等の pdf 化が完了した。3 月 31 日まで著作権の学会への委譲についての異議申し立てを受け付けている。掲載されている写真やメールアドレスを公開することに関する異議申し立ては年内一杯受け付ける。

(2) 国際会議関係

日本－トルコ炭素セミナー (2010/3/18-19, Istanbul)

Carbon2010 (2010/7/11-16, Clemson University, South Carolina, USA)

(3) 特別講演会について

平成 21 年度の特別講演会は、本委員会・分科会に先立ち 11 月 19 日に炭素材料学会 60 周年記念祝賀会と合同で開催された。117 委員会からは 37 名（委員・委員外）の出席者があった（全体では 67 名）。特別講演会の講演者およびタイトルは以下の通り。

(1) 産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門 エネルギー貯蔵材料グループ
羽鳥浩章 「炭素材料の構造制御とエネルギー貯蔵技術への応用」

(2) 東北大学多元物質科学研究所 京谷隆 「鋳型炭素化 ー研究の流れー」

(以上)